

2021年度東京都議会議員選挙小金井市選挙区立候補予定者公開討論会

立候補予定者事前アンケート

● 下記テーマに対し **MS 明朝にて各 250 字以内で回答ください** ●

● **自身の写真やグラフ・図形を貼り付ける行為は禁止します** ●

政策について、市民の皆様が責任ある正しい選択ができるよう下記の質問にお答えください。尚、下記アンケートのご回答内容は、当日 YouTube にて視聴する有権者に事前資料として WEB 上にて配布をさせていただきますのでご承知おきください。

東京都の現状に対する認識を踏まえた上で将来像（ビジョン）についてご自身のお考えをお聞かせください。

立候補予定者名 漢人あきこ

コロナ危機は、「自助」や「自己責任」の限界、セーフティネットの脆弱さ、さらに一極集中の巨大都市の問題も顕在化しました。生存権最優先の保健・医療・生活保障などの公的制度を整え、ジェンダー平等政策を重視し、地域ごとの循環型経済を活性化し、道路事業をはじめとした大型開発ではなく自然環境を活用した公共交通や自転車・歩行者優先のまちづくりや、緑や生物多様性の保全や回復などに税金を振り向け、エネルギー最大消費都市から脱炭素の持続可能な環境先進都市「人に寄りそうグリーンな東京」をめざします。

テーマ①「はけの道について」

東京都西部の立川市、国分寺市から世田谷区にかけて連なる「国分寺崖線」。湧水や小川、緑地などが広がるこの地域は「はけ」と呼ばれ、古くから自然の宝庫として親しまれてきました。ところが、東京都が決定した向こう10年以内に優先整備する都市計画道路（都道）が、東京のほぼ真ん中に位置する小金井市のはけと野川を縦断するものだったことから、地元市民を中心に「開発で、わずかに残された武蔵野の自然と文化の『聖地』を破壊する行為だ」と反対の声が上がっています。これらの状況を踏まえた上で今後のはけの道についてどうすべきか、賛成・反対の立場を明確にして、考えをお聞かせください。

テーマ①解答欄 立候補予定者名 漢人あきこ

「“はけ”と野川を壊す道路はいらない」が私の基本的立場です。5年前に計画が浮上した時から、市民は、市民アンケート、パブリックコメントなどで道路建設の見直し・中止を求めてきました。市議会も見直しを求める意見書などを13回も可決し、西岡市長も「市民の合意のない事業化は認めない」としています。すでに小金井市の民意は明らかです。都議選を通じ、東京都に対して道路断念を求めます。コロナ禍で身近な自然の大切さをあらためて感じます。都政全体として、時代錯誤の道路建設から緑の保全と復元に大きくシフトするべきです。

テーマ②「東京都と小金井市との間のコロナ対策の連携について」

新型コロナウイルスワクチンについて65歳以上の方のワクチン接種が始まりました。今後は若者世代に向けてのワクチン接種も始まる見込みです。

小金井市としてのワクチン接種の動向やウイズコロナについての現状の問題点とご自身のお考えをお聞かせください。

テーマ②解答欄 立候補予定者名 漢人あきこ

小金井市には保健所が設置されていません。そのため、市内での感染実態について市が把握できず、市独自の感染対策をすすめることが困難です。このことからみても市と都の関係は十分ではありません。ワクチン接種については、医師会、かかりつけ医の協力によって、スムーズに進んでいるといえます。しかし今後も変異株の猛威が予想され、感染長期化の出口は見えません。地域において恒常的な検査体制の拡充、生活困窮者への生活支援、事業者への補償、支援強化、テレワーク支援など多面的な政策実現に向け、東京都との連携が求められます。

テーマ③「武蔵小金井駅北口再開発について」

武蔵小金井駅北口周辺地区においては、平成20年に、地元の3商店会を中心とした方々による「武蔵小金井駅北口再生協議会」が発足し、まちづくりの検討が始まり、平成27年4月に、駅前商業地区において「武蔵小金井駅北口駅前地区市街地再開発準備組合」が設立され、地権者を中心とした方々による市街地再開発事業の検討が行われてまいりましたが、準備組合設立後の建築費の高騰や、事業に係る補償費が膨大なことなどにより、平成30年3月28日に一度準備組合を解散することとなりました。

しかし、本年令和3年3月29日に再開発事業の実現を目指して、地元地権者の皆様により、「武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発準備組合」が設立されました。これらの状況を踏まえて、今後の武蔵小金井駅北口再開発についてどう行っていくべきか具体策などをお示しいただきお考えをお聞かせください。

テーマ③解答欄 立候補予定者名 漢人あきこ

駅周辺のまちづくりは、地権者はじめ周辺住民や事業者のみなさんの生活や人生設計と深くかかわる事業であり、同時に街のシンボルとしての公共性が高い側面があります。本事業は組合施行のため市や都が関わる余地は少なく、税金の過大な支出はないと思われませんが、既存の商店への人の流れを阻害しないまちづくりを考慮し、地元商店や住民など関係者の合意の尊重、次世代につなぐ環境配慮、バリアフリーなまちづくりの観点で注視させていただきます。また、子どもが立ち寄れる場があれば街としての豊かさの幅が広がるのではないのでしょうか。

テーマ④「東京都政についてご自身の思い」

ご自身が考える東京都政についての課題点・問題点を具体的な事例も含めてお示しいただき、ご自身はどう東京都政を変えていくかそのお考えをお聞かせください。

テーマ④解答欄 立候補予定者名 漢人あきこ

- ・オリンピック・パラリンピック東京大会中止を速やかに決断し、コロナ対策に集中すべきです。
- ・大型公共事業、大規模開発から緑と環境優先のまちづくりへ転換します。
- ・子どもは未来です。「子育て・子育ち」環境を充実します。
- ・コロナ禍が女性を直撃しています。ジェンダー平等政策を積極的に導入します。
- ・エネルギー最大消費都市から脱炭素の先進都市へ転換します。
- ・誰もが自分らしく差別のない人権の尊重される東京、人と暮らしに寄りそう都政をめざします。
- ・分かりにくい都政に見える化し、都議会のチェック機能を高めます。

プロフィール記入

- ・氏名（ふりがな）
- ・生年月日
- ・住所 記載例：〇〇市
- ・最終学歴 記載例：〇〇大学〇〇学部卒
- ・職業
- ・略歴 100文字程度

※下記にプロフィールをお願いします。

ふりがな かんどあきこ			61歳
氏名 漢人あきこ			
生年月日	1960年5月11日	住所	小金井市緑町 5-19-14-605
最終学歴	東京学芸大学中退		
職業	団体職員		
略歴	1983-1995年 市内「どろんこ保育所」で保育士		
	1995年 緑小学校 PTA 副会長		
	1997-2013年 小金井市議 4期 16年		
	2012年 著書『『内部被ばく』こうすれば防げる！放射能を21年間測り続けた女性市議からのアドバイス』(文藝春秋)刊		
	2017年 都議選立候補、次点		

【返信方法】

○東京都の現状に対する認識を踏まえた上で将来像（ビジョン） テーマ回答①～④及び資料への表記用の「プロフィール」をまとめ、下記宛先まで **E-MAIL**にてご提出ください。

下記アドレスにメールを頂ければ、書式をメールにてお送りいたします。

【返信期限】

2021年6月4日（金）正午まで

返信先 小金井青年会議所

E-mail : mail@koganeijc.com

担当者 実行委員長 杉山均

TEL080-1015-7360